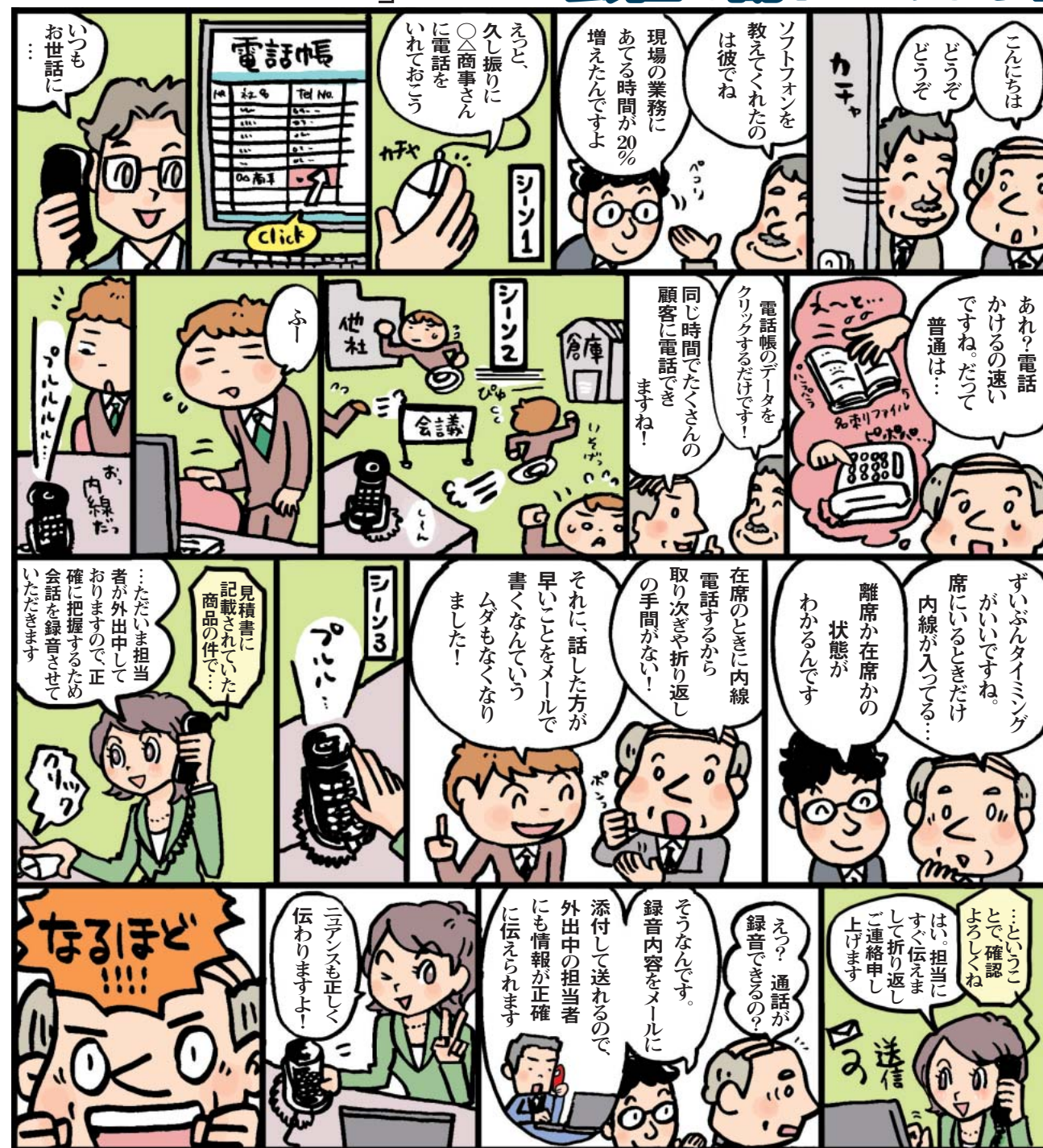


NECの
ソフトフォンディーターム エスピー
DtermSP30

を使っている

会社を訪ねてみよう!



シーン1では…

パソコン上に保管している電話帳データを選ぶだけで電話をかけられる「電話帳機能」を利用。名刺を探す手間を減らし、掛け間違いをなくす。電話帳を共有すればさらに効率的に

シーン2では…

社員それぞれが、今、席にいるかどうか、話中かどうかを社内関係者に知らせる「プレゼンス機能」を利用。不在のときはメッセージを送るなど、ムダのない動きが取れる

シーン3では…

通話の内容をパソコン上のデータとして保存できる「録音機能」を利用。お客様のニュアンスや数字などを正確に伝えたいときに便利。データはメールに添付可能なので、担当者にすぐ伝達できる

ワンポイント解説

強い会社は「時間の使い方」がうまい。製品開発や営業・顧客対応など、商業活動の中核部分には社員の力を徹底的に投下。一方、本業と直結しない仕事は上手に効率化してスリム化に努めている。いつも意識していないと「ムダ」がオフィスのあちこちに生まれ、業務時間を圧迫する。

知らず知らずに
増える不要な仕事

例えば、離席している社員への内線電話。この時、かけた社員も代理で出た社員も仕事をしているように見えて、実は何も生み出していない。一方、電話は面倒だと何でもメールで伝えようとすると、今度はメールを書くことに時間をとられてしまう。実際、相談ごとや複雑な用件は電話で話したほうが



時間が少なくてもすむにもかかわらず... 社内外のコミュニケーションに

欠かせないメールや電話を「時間泥棒」にしないために、何か良い方法はないのだろうか。その解答の一つが、NECの「ソフトフォンDtermSP30」だ。ソフトフォンはデータ通信技術の進歩によってできた新しいビジネスコミュニケーションシステム。電話やメール、映像といった従来のツールをコンピュータネットワークに統合し、業務効率を大幅にアップさせようというものだ。電話とコンピュータが別々に動いていたのは過去の話。ソフトフォンでは、パソコンにつなげたハンドセット(受話器)を使って、パソコンの画面を見ながら電話をかける。ソフトフォンは下表に挙げた7つの基本機能を持つ。これらの機能

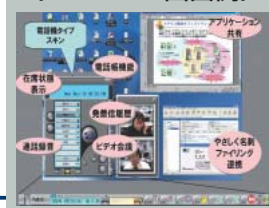
NECのソフトフォン「DtermSP30」とは?

ソフトフォンはIPネットワーク上で電話やコンピュータを効率的に活用できるようにする仕組み。データ、音声、映像を上手に組み合わせ、今までにないスムーズなコミュニケーションを図ることができる。

■7つの基本機能

- | | | | |
|--------------|--------------------------------------|---------------|----------------------------|
| ① プレゼンス表示 | 相手の状態(在席、話中、離席)が確認できる | ⑤ 通話録音 | 通話が録音できる |
| ② 簡易ビデオ会議 | カメラを接続すれば顔を見ながら話せる | ⑥ インスタントメッセージ | 文字メッセージが送れる。離席、話中の人に連絡を取れる |
| ③ 発信・着信履歴表示 | 電話の履歴が一覧で、再ダイヤルもラクラク | ⑦ 電話帳機能 | 画面で相手を選ぶだけで自動的に電話発信できる |
| ④ アプリケーション共有 | 双方のパソコン画面で同じアプリケーションを共有し、修正作業も双方で行える | | |

〈パソコンの画面例〉



利益につながる時間を増やす 新しいコミュニケーション方法とは?

音声・データ統合通信によるコミュニケーション改革

NEC